

お元気ですか

～全国各地の会員からのお便りを紹介します～【2016年1月】

第31回 Jネット勉強会報告—都心散策と落語鑑賞—

Jネット理事 藤沢 勝一郎

勉強会は、1月16日(土)14時、地下鉄東西線「竹橋駅」近くの和氣清麻呂公園集合から。

今回は、参加予定者1名欠の14名、内3名とは国立演芸場で合流するため、11名でスタート。天候は、小春日和で風もほとんど無く温かくて気持ちが良い。

出発地とした和氣清麻呂公園には、8世紀に皇統を守り、桓武天皇に都を平安京(京都)に移すよう進言した和氣清麻呂の像が建っている。道路の向側は、KKR東京ホテルや気象庁。

ここから歩5分ほどの所に、平将門の首塚がある。伝承では、首は平安京まで送られて都大路に晒されたものの3日目に夜空に舞い上がって故郷に向かって飛んで帰り、数箇所に落ちたとされる。伝承地は数箇所あるが、その中でも最も著名なのが今回の場所である。



かつて、この場所に大蔵省を建てるための工事をしたが、工事関係者や大蔵省職員の相次ぐ不審死が起きたり、第二次大戦後、GHQが周辺の区画整理に障害となるこの地を造成しようとした時にも不審な事故が相次いだため、造成計画を取り止めたことがある。

このようなことから、この地に対して不敬な行為に及べば祟りがあるという伝承が出来たといふ。

我々一同も、不敬な行為をすることなく、首塚に手を合わせた。初めてここへ来たという参加者は、皇居や東京駅のごく近くにあることに驚いていた。

ここから、内堀通りを進み、二重橋・桜田門経由で日比谷公園内にある松本楼へ。

松本楼は、毎年行われる100円カレーでも有名。ここで各自好みのメニューを選んで、屋外テープルでのガーデンランチ。椅子に腰掛けることが出来、ほっと一息。暖かいとは言え冬季ということもあり、楼がひざ掛けを用意してくれていた心遣いが嬉しい。

ランチ後、再び歩いて池のある国会前庭和式庭園を経由して国会前庭洋式庭園へ。洋式庭園内には我が国の標高基準となる日本水準原点があるが、コンクリート製の舎の中にあって見ることは出来ない。憲政会館、国会図書館前を通って、国立演芸場へ到着したのは17:05。もう5分もしたらかなり暗



くなって、歩くのに支障がでたかもしれない。竹橋駅からの歩行距離は、およそ4km。長距離の歩きは、ちょっときつかったかも知れない。

国立演芸場で3人と合流。お目当てはふるさと上越市出身の鯉橋師匠。

今回は、第440回花形演芸会とあって、新進芸人の落語、漫才、講談、浪曲などがあり、人気の「爆笑問題」も出演して満席状態。「爆笑問題」は、芸能界をにぎわしている最近のネタを過激に表現して、大きな笑いをっていました。

鯉橋師匠の落語「元犬」は、願掛けして人間になった白い犬が、犬の時の習性を残しながら「人」として受け入れられ、人と犬を繰り返しながら、その子孫が現在のテレビCMの「お父さん犬だ」とのオチで、会場から大きな拍手が沸きました。